

患者支援センターだより



新年度のごあいさつ

病院長 黒田 良祐



平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2025年4月より神戸大学医学部附属病院長を拝命いたしました黒田 良祐（くろだ りょうすけ）と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

現在、日本は超高齢社会となり、団塊の世代が75歳になる2025年に突入し、疾病構造も日々変化しています。病院の機能分担が求められ、病病連携、病診連携など機能分化・地域医療連携がさらに重要となります。当院は特定機能病院および高度急性期病院としての役割をしっかりと果たして参ります。地域医療連携は当院の診療機能の基盤であり、引き続き皆様からのお声を頂戴しながら、そのつながりをさらに強くし、より柔軟に対応できるよう取り組んでまいります。本誌を通して当院の最新情報を知っていただき、みなさまにとって当院が身近な存在になっていけばと考えておりますので、是非とも目を通していただければ幸いです。



Contents

・ 新年度のごあいさつ	1
・ 目次	2
・ 循環器内科ホットライン開設のお知らせ	2
患者支援センターからのお知らせ	
・ 新広報誌のお知らせ	3
・ 病院訪問のご案内	3
診療科・部門からのご案内	
・ 糖尿病・内分泌内科	4・5
・ 泌尿器科	6
国際がん医療・研究センターからのご案内	
・ 形成外科	7
・ リハビリテーション部門	8・9
患者支援センター問い合わせ一覧	10

速報

神戸大学医学部附属病院

循環器内科専用 ホットライン 始動しました。

24 時間 365 日、いつでも、お気軽に御利用ください！

神戸大学医学部附属病院 循環器内科専用 ホットライン

078-382-5439

(月曜～金曜 AM9時～PM5時)

078-382-2415

(夜間、土曜・祝休日 ※平日の日中も繋がります)



胸痛や呼吸困難など心血管疾患が疑われる時に限らず、救急依頼の判断にお困りの時など、お気軽に御利用ください。循環器内科医師が丁寧に対応いたします。



患者支援センターからのお知らせ

● 広報誌リニューアルのお知らせ ●

いつも当院の広報誌をご覧いただき、誠にありがとうございます。

この度、読者の皆さまへのより良い情報提供を目指し、2025年7月発行分から広報誌をリニューアルすることとなりました。新しい広報誌では、大学病院の今をお伝えすることはもちろん、皆さまの業務に役立つ情報など幅広く掲載してまいります。

皆さまにとって、より一層有益で魅力的な情報をお届けできるよう努めてまいります。

次号7月号は新しくなった広報誌をお届けいたします。ぜひご覧ください。

これからもよろしくお願いいたします。



■ 病院訪問のご案内

これまでご訪問いただきました医療関係者の皆様には改めてお礼申し上げます。当院へのご訪問は、下記要領にてお申し込みください。

お申込の方法

下記アドレスにメールにてお申込ください。

患者支援センター広報 sienkoho@med.kobe-u.ac.jp

メール記載事項

1. 貴施設名

2. 希望日時

◆希望日

※可能であれば希望日時は3つ程度ご提案ください。

◆希望時間帯を選び、ご記入ください。

① 11:00～11:30 ② 11:30～12:00

③ 15:00～15:30 ④ 15:30～16:00

⑤ その他（ご希望に添えない場合もございます）

3. ご訪問の内容

◆特にご希望の診療科や議題がある場合にはお書きください。

（例）希望内容 △△科の新任挨拶・セミナーのお知らせ



皆様のご来訪を心よりお待ちしております。

例 施設名 ○○医院
希望日時 第一希望 8月 9日 ① ②
第二希望 8月 26日 ④

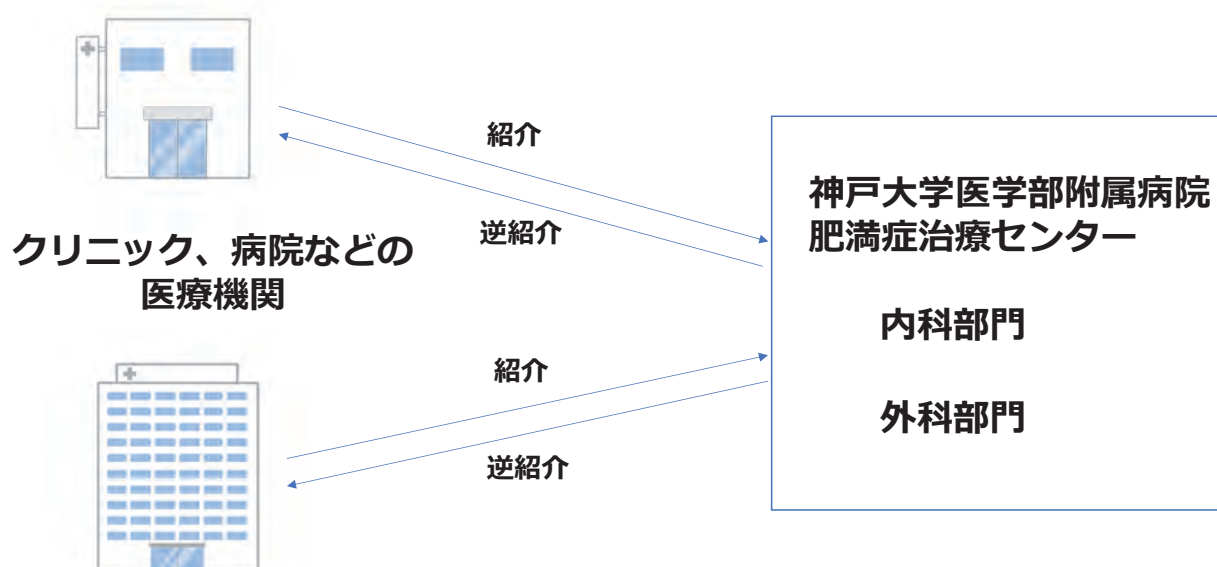


糖尿病・内分泌内科からのご案内

肥満症治療センター開設のお知らせ ～内科的治療から外科的治療までシームレスな肥満症診療～

この4月より、神戸大学医学部附属病院「肥満症治療センター」を新たに開設しました。本センターでは、多診療科・多職種の専門医療チームが連携し、最新の科学的知見に基づいた肥満症治療を提供します。外来での治療のみならず、入院治療も行っており、食事療法、運動療法、行動療法といった基本的な肥満症治療に加え、薬物療法、外科的治療、さらには新たな肥満症治療薬の治験や臨床研究への参加なども含め、患者さんに最適な治療を提案します。

肥満症診療の地域連携



最新の肥満症治療薬の活用

近年、肥満症治療は飛躍的な進歩を遂げています。2024年には持続性 GLP-1 受容体作動薬「ウゴビー®」が発売されましたが、本年は、さらに持続性 GIP/GLP-1 受容体作動薬である「ゼップバウンド®」が発売されます。これらの薬剤は、食事療法・運動療法を継続しながら使用することで、減量効果を高めることが可能です。当センターでは、これらの薬物療法を適切に活用し、個々の患者さんに適した治療を行っています。

外科的治療

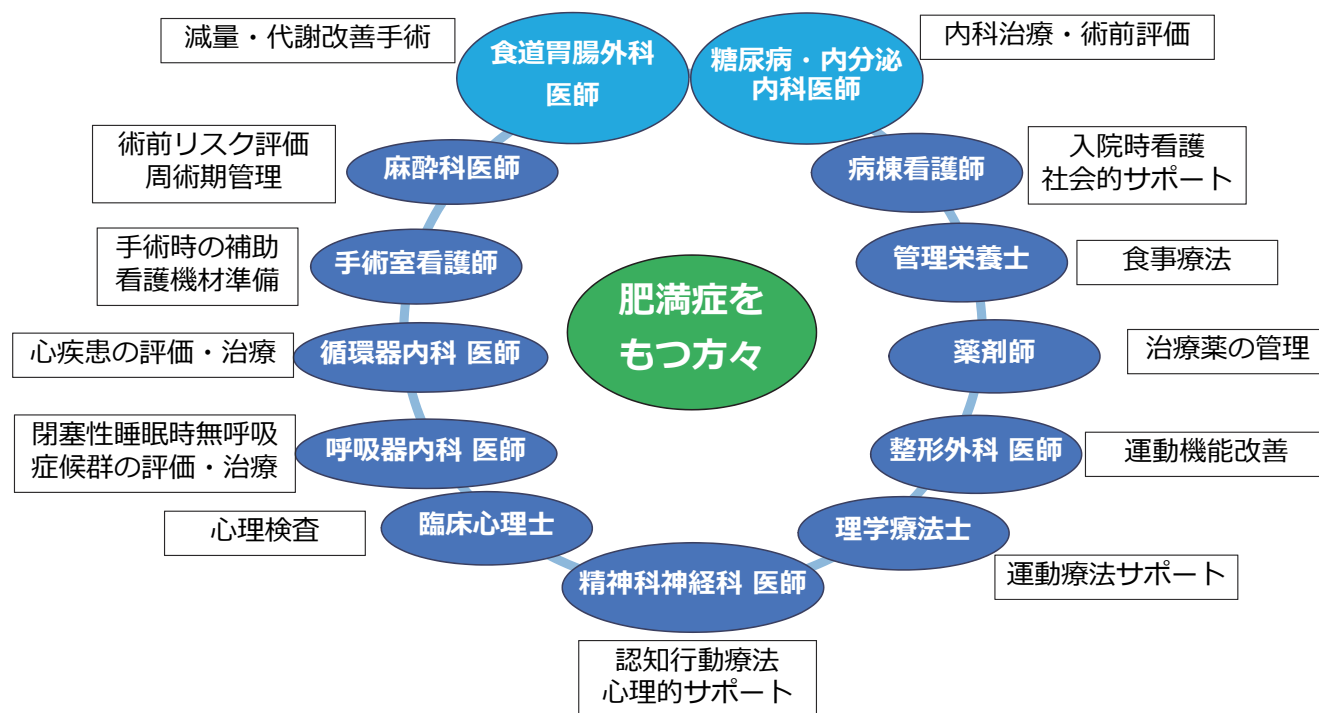
腹腔鏡下スリーブ状胃切除術などの減量・代謝改善手術も、保険診療の範囲内で実施可能となっています。従来の内科的治療では十分な減量が得られなかった患者さんに対し、手術による新たな治療選択肢を提供しています。

治験・臨床研究への参加

当センターでは、肥満症に関する新たな治療法の開発・評価を目的とした治験や臨床研究を進めています。適応のある患者さんには、最新の治療法をいち早く提供するとともに、今後の肥満症治療の発展に貢献していきます。

地域の先生方からのご紹介も随時受け付けております。肥満症の精査・治療が必要な患者さんがいらっしゃいましたら、ぜひ当センターをご活用ください。

多診療科・多職種連携によるシームレスな肥満症診療



お問い合わせ先

糖尿病・内分泌内科医局（肥満症治療センター内科部門）
TEL：078－382－5861



泌尿器科からのご案内

hinotori™ による骨盤臓器脱に対する ロボット支援腹腔鏡下仙骨脛固定術導入予定のお知らせ

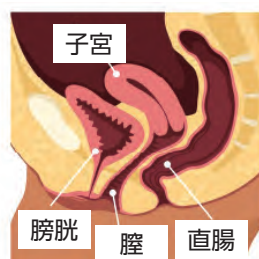
当院ではロボット支援手術を 2010 年 10 月より開始し、2020 年 12 月からは hinotori™ によるロボット支援手術も開始しています。hinotori™ を用いて悪性疾患を中心に数多くのロボット支援手術を実施していますが、このたび骨盤臓器脱に対するロボット支援腹腔鏡下仙骨脛固定術を導入する予定しています。

骨盤臓器脱とは

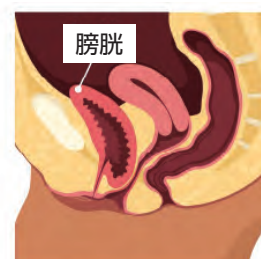
骨盤内にある臓器、**膀胱・子宮・直腸・膣**などが**だんだんと下がってきて膣から体外に出てしまう病気**です。

下腹部や膣の中にもものが降りてきたような違和感が出現し、膀胱瘤になると尿が出にくい感じや、頻尿、尿失禁などの排尿障害が出現します。すぐに命にかかわることはないのですが、中高年女性の快適な生活を妨げる病気です。

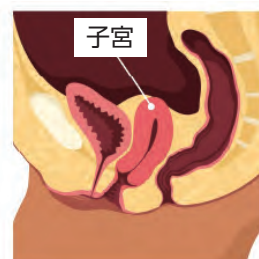
出産・加齢などにより骨盤底の筋肉（骨盤底筋）が緩むことが原因と考えられ、薬では治せません。米国人女性では 80 歳までに、約 1 割がこの種の状況で手術を受けると報告されており、年齢と共に進行が予想されます。



正常な状態



膀胱瘤：
膀胱が膣から脱出



子宮脱：
子宮が膣から脱出



直腸瘤：
直腸が膣から脱出

ロボット支援腹腔鏡下仙骨脛固定術

医療用メッシュ（補強となるシート）を臓器脱の原因となっている部位に挿入し、それを仙骨前面に固定することで臓器脱を修復する手術です。

手術支援ロボットを用いることにより、3D 立体画像を見ながら、繊細な手術が可能です。

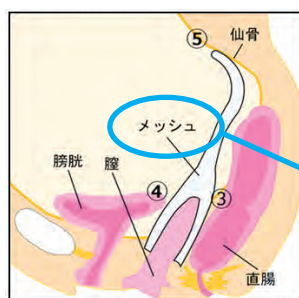
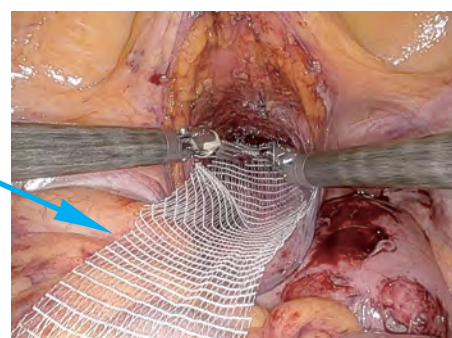


図 2 骨盤の解剖とメッシュ挿入・固定位置
メッシュは前後膣壁と固定し、仙骨に引き上げます



最後に

骨盤臓器脱で悩んでおられる患者さんがおられましたら、神戸大学病院泌尿器科までご紹介くださいますようお願いいたします。



ICCRC

形成外科からのご案内

形成外科とは？

身体に生じた組織の異常や変形、組織欠損に対して、特殊な技術を駆使し、機能のみならず形態的にもより正常にすることによって、皆様の生活の質の向上に貢献する、外科系の専門領域です。形態や機能のみならず、心像をも正常な状態に修復再建することを目的としていることから、精神外科とも言えます。

形成外科で扱う疾患

腫瘍、外傷（創傷）、先天奇形、美容の 4 本の柱です。

当院で特に力をいれて扱う疾患

- ① **リンパ浮腫** 複合的治療＋手術療法を行っています。専任看護師、理学療法士、管理栄養士などチームで治療を行っています。全国的にも少ないリンパ浮腫治療を包括的に行う教育入院を導入している施設です。（図 1、2）
- ② **難治性皮膚潰瘍・フットケア** 褥瘡、静脈うっ滞や糖尿病や膠原病その他放射線治療が原因で生じる慢性難治性潰瘍の治療を行っています。タコ、うおのめ、爪のトラブル（巻き爪、陥入爪）なども対応しています。
- ③ **皮膚・皮下腫瘍**
- ④ **肥厚性瘢痕・ケロイド** きず痕の治療
- ⑤ **外傷・熱傷** 顔面骨骨折や創傷、皮膚欠損創など、全身管理を必要としない熱傷

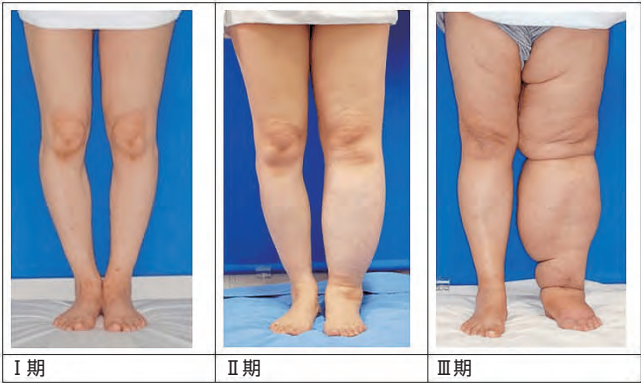


図1 リンパ浮腫（左が患肢）

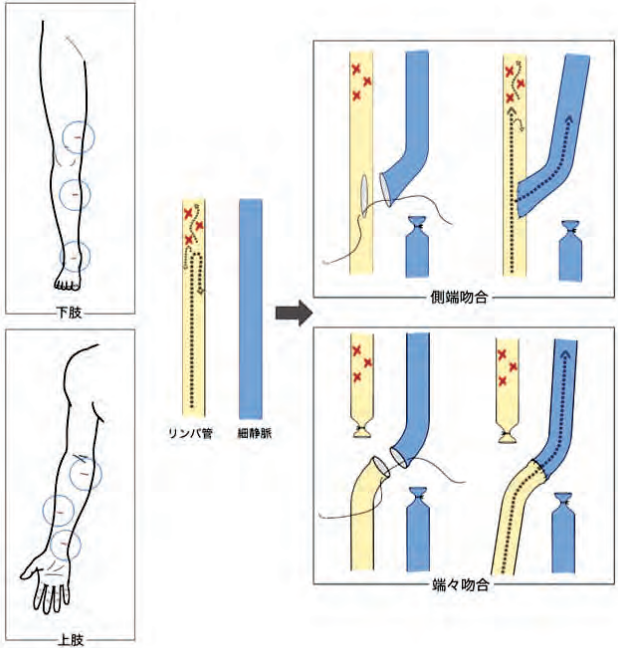


図2 手術療法（リンパ管静脈吻合術）

当科は下記の日程で外来診療を初診・再診とも行っています。診療内容によっては、神戸大学医学部附属病院形成外科とも連携しているためご紹介させていただくこともあります。

	月	火	水	木	金
午前(9:00-11:00)		手術		◎	手術
午後(13:00-15:30)	◎				手術

図は日本形成外科学会 ホームページ参照



ICCRC リハビリテーション部門からのご案内

患者に寄り添う、専門的かつ包括的なリハビリテーション

神戸大学医学部附属病院国際がん医療・研究センター（ICCRC）リハビリテーション部門は、2020年2月の開設以来、がん患者さんや整形外科疾患を持つ患者さんのリハビリテーションを支援してまいりました。私たちは、最新の設備と専門的な知識を活かし、患者さん一人ひとりの健康と生活の質の向上を目指しています。

前十字靭帯損傷後のリハビリテーション

スポーツや事故による前十字靭帯損傷（ACL 損傷）は、適切なリハビリテーションを行うことで早期回復が可能となります。当センターでは、患者の皆さま個々の状態に応じたリハビリテーションプログラムを作成し、入院中は十分な時間を確保し集中的なリハビリテーションを行うことで機能回復を最大限にサポートしています。また、退院後も必要に応じて外来でのフォローアップを実施し、患者の皆さまが安心して日常生活やスポーツ活動に復帰できるように支援しています。スポーツ復帰を目標とするアスリートの方々にも専門的なリハビリテーションを提供し、競技復帰までの道のりをサポートします。

難治性リンパ浮腫に対する教育入院

リンパ浮腫は、乳がんや婦人科がんなどの手術や放射線治療後に発症することがあり、患者さんの生活に大きな影響を及ぼします。当センターでは、形成外科と連携し、多職種チームによる教育入院プログラムを提供しています。患者の皆さまには、医療従事者からの専門的な指導のもと、自宅での適切なケア方法を学んでいただきます。圧迫療法や運動療法、セルフケア指導などを通じて症状の進行を抑え、より快適な日常生活を送るための支援を行っています。また、教育入院以外にも外来での理学療法士による運動療法のフォローアップを行い、継続的なケアを提供しています。

地域連携と今後の展望

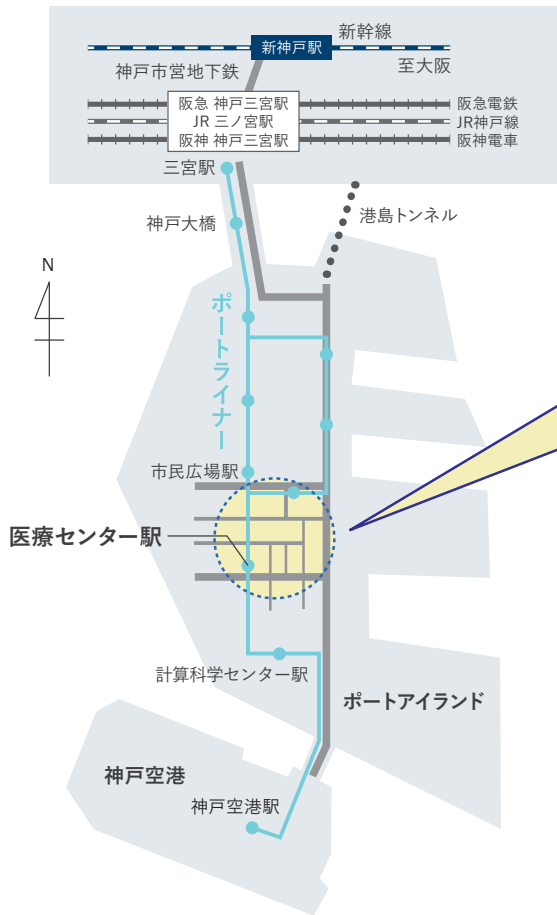
ICCRC リハビリテーション部門では、地域の医療機関との連携を深めるとともに、大学病院としての教育・研究活動にも力を入れています。今後も、患者の皆さまが安心して治療を受けられる環境を整え、より質の高いリハビリテーションを提供してまいります。



▶ リハビリ室の風景

アクセスマップ

Access Map



改札を出て右側の
ムービングウォークを直進し、
右手の直結歩道橋より
受付(2F)へ



電車でのご利用

- ポートライナーで医療センター駅へ
- 三宮駅からポートライナー神戸空港行で約12分
 - 神戸空港駅からポートライナー三宮行で約5分
 - 医療センター駅で降り、北へ100mです。

お車でのご利用

各方面から神戸大橋を渡りおよそ15分です。
三宮東の港島トンネルも利用できます。

外来診療日・診療時間

General outpatient care

外来診療日・診療時間	月	火	水	木	金
9:00~11:00	○	○	○	—	○
13:00~16:00	○	○	○	○	○

※土・日・祝日は休診日となります。 ※予約のない初診は受け付けておりません。

神戸大学医学部附属病院 International Clinical Cancer Research Center

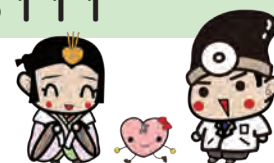
国際がん医療・研究センター

〒650-0047 神戸市中央区港島南町一丁目5番地1号
TEL.078-302-7111 (代表) FAX.078-302-7147
<http://www.hosp.kobe-u.ac.jp/iccrc/>

【医療機関専用】 患者支援センター問い合わせ先一覧

神戸大学医学部附属病院 代表番号 078-382-5111

✳ 業務時間／平日 午前8時30分～午後5時00分



主な業務	対応職種	連絡先
- 退院支援（在宅支援・転院・施設支援） - 各種制度に関する問い合わせ	看護師 ソーシャル ワーカー	TEL：078-382-6623 FAX：078-382-5267
- 診療情報提供書の仲介 - 訪問看護指示書発行手続き - 入院相談（緊急の場合は各診療科へお願いします）	事務員	TEL：078-382-6627 FAX：078-382-5267
広報	事務員	TEL：078-382-5522 MAIL：sienkoho@med.kobe-u.ac.jp
外来紹介予約 FAX 受付【地域連携部門 予約担当】 FAX 受付時間：平日 午前8：30～午後7：00 土曜 午前9：00～午後0：00 ※日・祝日、年末年始及び、GW、お盆期間の土曜日を除く。 電話受付時間：平日 午前8：30～午後5：00 ※土日・祝日、年末年始を除く。	事務員	TEL：078-382-5264 （予約専用） FAX：078-382-5265 （予約専用1） ：078-382-2650 （予約専用2） ※7枚以上の送信は予約専用2にお願いします

※患者さんからの直接のお問い合わせは受け付けておりません。必ず紹介元医療機関を通じて、ご連絡ください。
※入院日日程に関しては、各診療科にお問い合わせ下さい。

アクセスマップ

